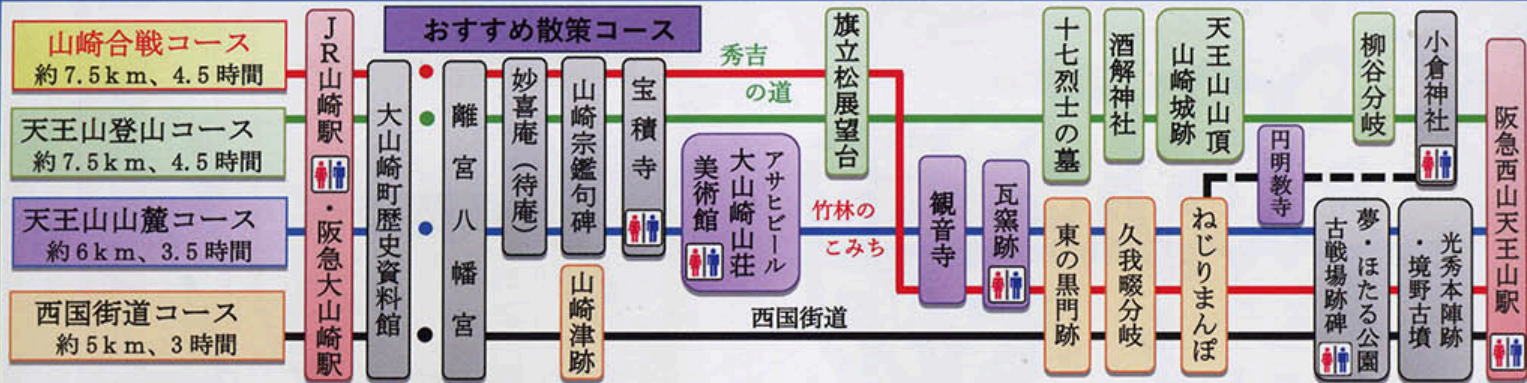


おおやまさき 散策マップ





注1: 図の左右両方から散策が可能です。注2: サントリー山崎蒸溜所、サントリー京都ブルワリーとの組み合わせも可能です。(要予約)
 注3: 時間は説明、休憩を含みます。注4: 点線部のルートも可能です。注5: その他のご希望コースもご案内できます。

主な見所

大山崎町歴史資料館

展示室は古代、中世、山崎合戦と待庵・利休、近世コーナーという構成になっている。山崎合戦など大山崎の歴史を知るには、まずココで「ふるさとガイド」の説明をご利用下さい!

離宮八幡宮

本邦製油発祥地と伝わる。荏胡麻油生産の会所、自治都市・大山崎の中心として栄えた。

妙喜庵

日本最古の茶室、国宝「待庵」がある。山崎合戦後、秀吉に招かれた千利休作の唯一現存茶室である(要予約)

宝積寺(宝寺)

行基の開創と伝わる。山崎合戦時は秀吉が本陣とし、合戦直後天王山に山崎城(宝寺城)を築城し、三重塔も一夜で建立したと伝わる。

アサヒビール大山崎山荘美術館

元は、加賀正太郎が建てた山荘。陶磁器、モネの《睡蓮》等を展示。庭園も美しい。

山崎合戦古戦場跡(天王山・夢ほたる公園)

「天下分け目の天王山 山崎合戦古戦場」と記された碑がある。秀吉と光秀が戦いを繰り広げた主戦場は、小泉川(旧・円明寺川)を挟んだこの辺りだったという。

十七烈士の墓

天王山ハイキングコース

天王山は標高270.4mで、あまり高くはないが尾根までの登山道は急峻です。宝積寺側から少し登った三川合流展望広場や旗立松展望台からは、大阪平野や京都盆地のパノラマが楽しめます。登山道沿いには秀吉の天下取りを描いた陶板画(6面)や十七烈士の墓、酒解神社があり、山頂の山崎城跡も含め歴史に夢を馳せることができます。また、山頂から小倉神社側への道を辿れば、豊かな自然も満喫できます。

旗立松展望台の山崎合戦陶板画



天下分け目の天王山 天正・山崎合戦

天正10年(1582)年6月2日(新暦では7月1日)京本能寺で織田信長が討たれた。その報は2日後、中国地方備中高松城攻めを信長から命ぜられていた羽柴秀吉の元に届いた。秀吉は急速毛利氏と和睦を成し山陽道・西国街道をひた走り京を目指した。一方主君信長を討ち、京、近江を制圧した明智光秀は、秀吉が兵を移動させていることを知り、軍勢を摂津、河内境へと進めた。

6月13日午後4時頃に戦いは始まった。秀吉軍3万数千光秀軍1万数千の軍勢が小泉川(旧・円明寺川)付近で激突した。戦いは短時間で決し、軍勢に勝る羽柴軍の一方的な勝利に終わった。敗北を知った明智の兵は方々に逃散し、光秀も本陣背後の勝龍寺城に一時退去、夜陰に乗じて僅かな手勢を伴って近江へと逃れていった。一行は桃山丘陵を超えた小栗栖で土民の襲撃を受け、光秀は乱世の戦いに明け暮れた短い生涯に終止符を打った。合戦直後、秀吉は天王山一帯に城を築城し、大山崎から天下統一へと乗出すことになる。(旗立松展望台説明板文を転記)

おもてなしの心でご案内する! ボランティアガイドグループ **ガイド料は無料です**

ガイドの申込み方法

- 申込み用紙をホームページより印刷、又は、電話連絡いただければ、FAXで送付します。
- 必要事項を記入いただき、ガイド希望日の2週間前までに持参・郵送・FAXのいずれかの方法で下記にご提出下さい。

〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎竜光3番地 大山崎町歴史資料館内 「大山崎ふるさとガイドの会」
 TEL. 075-952-6288 FAX. 075-952-6289 <http://www.kyoto-ofg.org/> 大山崎ふるさとガイドの会 検索

【歴史資料館の休館日】 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館日等

大山崎ふるさとガイドの会 (OFG) 会員募集中